



花となれ 光となれ

いき ついし やくしん
為己 遂志 躍清

令和7年10月9日

第13号

一関市立藤沢中学校

震災の記憶から教訓を学ぶ

10月1日（水）、1年生が東日本大震災における津波の被災地である気仙沼・陸前高田を訪問、体験学習に取り組みました。

～1年生被災地学習～

最初に訪れた気仙沼では、震災遺構として保存されている伝承館（旧気仙沼向洋高等学校）を見学、破壊された校舎や上昇した水位の痕跡を間近で見ることができ、被害の大きさ、恐ろしさを実感することができました。また午後に訪れた陸前高田では、野外活動センターで一関市藤沢地域の防災マップの読み取りによる危険区域の確認や避難所の設営体験を行いました。

岩手県では幼・小・中学校の教育の柱の一つとして「復興教育」を掲げています。これは「復興」と名の付くことから東日本大震災からの復興のみをイメージしがちですが、必ずしも自然災害に限らず、感染症やその他社会の変動を乗り越え、子どもたちがたくましく生きていく力を育んでいくために必要な学びです。

今後も保護者の皆様にも学習の成果をご覧いただいたり、コメントを頂いたりする場面もあるかと思います。その節には何卒ご協力をお願いいたします。



正しく使えばクスリ、乱用すればリスク～薬物乱用防止教室～

9月19日（金）、千厩ライオンズクラブの皆様のご協力により、薬剤師の及川康憲さんを講師にお招きして、2年生を対象に薬物乱用防止教室を開催いたしました。

講話では薬の正しい使い方とともにオーバードーズの危険性、ゲートウェイドラッグとしてのたばこ・酒の害、そして違法薬物の恐怖について学びました。かぜ薬など薬局で簡単に購入できる市販薬でも、量を間違えば死に至るような危険性もあること、未成年でたばこや酒を口にすることはさらに危険な違法薬物に手をだすきっかけになり得ることなど、具体的な例をもとにわかり易く教えて頂きました。

県内では5月に北上市で高校1年生が大麻の所持・使用で逮捕されています。違法薬物の使用やオーバードーズはすでに子どもたちの身近にある問題です。ご家庭におかれましても、薬についての正しい知識を持ち、用法を守ることを呼びかけて頂くとともに、市販薬や処方薬の在庫・使用量を定期的に管理して頂くなど、命と健康を守るために取り組みをお願いいたします。



声と心を合わせて～合唱練習始まりました～

10月26日（日）に開催される文化祭に向けて、合唱練習が始まりました。清掃後、帰りの会の前の短い時間ですが、学級ごとに工夫して取り組んでいます。

中学校の学級合唱は、生徒たちが仲間と心を合わせ、一つの作品を作り上げる体験です。単に声を出せば良いだけではありません。相手の声を聴き、自分の音量や言葉の出し方をそろえ、全体の響きを想像しながら歌います。大きな声は全体を引っぱり、やわらかな声は響きに色を添えます。意見が合わない日や、思うようにそろわない日もありますが、**何度も歌って試し、少しずつ良くしていく中で、あきらめない気持ちと、相手の考えを受けとめる姿勢が育ちます。**声変わりや恥ずかしさで不安を抱える生徒もいます。それでも、無理をしそうない方法を探り、歌いやすい位置や出し方を見つけていくことで、自分の力を知り、仲間に支えられて前に進む感覚をつかみます。指揮や伴奏に限らず、音取りの手伝い、練習の記録、会場準備、片づけなど、見えにくい働きが合唱を支えます。誰かの小さな気づきや一言が全体を変えることを、生徒たちは実感します。



時にはご家庭で愚痴をこぼすようなこともあるかも知れませんが、学級合唱には上記のような教育的な価値があることをご理解の上、温かい目で見守って頂きたいと思います。

時を守り、場を清め、礼を正す

上記の言葉は哲学者・教育学者として活躍した森信三という人が「職場再建の3原則」として提唱した言葉に由来するものです。現在は企業理念や社会人教育、教育現場など多方面で活用され、本校の生徒昇降口にも掲示してあります。

【時を守り】とは「**時間や期限を守る**」ということです。定刻までに準備を整え、きたるべき時に備えて心を静めて開始を待つ、また決められた期日までに求められた対応を行うということでもあります。時を守る先には、必ず相手があります。自らが時を守ることで、**相手を尊重すること**となります。学校でも授業の開始や学年で集まるときなど、チャイムが鳴る前に姿勢を正し、心を静めて開始を待つことができることを目指して指導しています。

【場を清め】とは「**掃除・整理・整頓をする**」ということです。掃除をすることの意味として、「**気づく人になれる」「心を磨く」「感動の心をはぐくむ」「感謝の心が芽生える**」という4つが示されています。人にしてもらっていては気づかないこのような心を実際に体験することで、味わい、感じることができます。掃除時間は時間いっぱい使って、隅々まで黙々と掃除してほしいと思っています。また一人ひとりが一日に一つでも教室や廊下などのごみを拾ってくれれば、学校から約150個のごみを減らすことができます。ごみを捨てないことや整理整頓を含め、気持ちのいい学習環境を自分たちで作っていってほしいと思います。

【礼を正す】とは、「**挨拶や返事をする、服装を正す、姿勢を正すこと**」です。子どもたちは家庭で、学校で、地域の様々な場面で多くの人とかかわり、また、お世話になっています。だからこそ相手に関係なく、**誰に対しても礼をつくすこと**を教えなければならないと思っています。「おはようございます」という挨拶は幼い頃から教えられているはずなのですが、きちんとできる子とそうでない子がいます。会話というコミュニケーションが人と人をつなぐ大きな意思伝達方法となりますから、お互いが気持ちよくなるような挨拶や返事を心がけ、**人間関係を円滑にしたい**ものです。服装や姿勢を正すというのも同じです。時と場にふさわしい服装をすることや姿勢を正すことも**相手を尊重すること**になります。

生徒たちが気持ちよく学校生活を送るために、またそれぞれの将来のために「時を守り、場を清め、礼を正す」を実践していきます。ぜひご家庭でもお声掛けをお願いします。